

広報

夢のある田園交流都市
大仙の創造を目指して

だいせん

— 予算特別号 —

今年の 一手



広報だいせん

予 算

特別号

「今年の一手法」

夢のある田園交流都市
大仙の創造を目指して

04

「予 算」
それはまちづくりの設計図

06

一般会計歳入
412億7,121万4千円の物語

08

一般会計歳出
「市民と協働のまちづくり」
を基本にした歳出

10

地域枠予算
地域特性を生かした地域づくり

13

主な事業説明

14

第1節 健康福祉

15

第2節 教 育

16

第3節 産業・雇用

17

第4節 都市基盤

19

第5節 環境・安全

20

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進

22

資 料 編

【コラム】

- 02 「今年の一手法」
- 07 自主財源の確保
- 09 見直す財政計画
- 14 家計簿に見る予算
- 一人当たりの予算
- 21 ゼロ予算事業

【コラム0】

市民との
協働のまちづくり
今年の一手法

— COLUMN —

大仙市が8市町村による市町村合併を選択し、誕生してから4年目を迎えました。

本格的な地方分権時代に対応し、住民が安心して暮らせる地域づくり。そして地域の伝統文化を生かし、活力あるまちづくりを進めるには、自治体はその運営に当たり、常に社会の新しい動向や変化に敏感に対応することを心がけなければなりません。また、市民の目線で物事を考え、市民の意見を聴き、市民の声を市政に生かすことが大切です。

そのためには情報公開や説明責任による開かれた市政の推進が図られるよう、行政情報はできるだけ分かりやすく市民に提供する体制づくりを今以上に取り組んでいかなければなりません。

今年度は「市民との協働のまちづくり」をさらに推進するため、その基礎となる自治会の育成や地域協議会の活性化、新たなまちづくりの担い手であるNPOやボランティア等の育成・支援に努めます。

自主的・主体的な市民活動支援や地域が抱えている課題に対し、現地即決対応するため各地域に配分された「地域枠予算」を有効に活用し、地域の特色を生かした協働のまちづくりに取り組みます。

また、特段の事業予算を伴わず既存の施設や人材を活用しながら取り組む「ゼロ予算事業」は、内容を拡充してサービスの提供に努めます。

平成20年度予算がスタートしています。市民の代表者の方である市議会で審議され承認された、「まちづくりの設計図」。予算を見ればその方向性が見えてきます。

「難しそうだなあ…」などと言わず、「今年の一手法」をご覧ください。

平成20年度 大仙市の 予算



健闘を讃えて
優勝

21歳以下1・2・3年女子
記録 8分39秒

殿

あなたは第9回奥羽太田ロードレース大会において自分の限界に挑戦し爽やかに太田の里を走り抜きましたここにその力走を讃え表彰します

平成19年10月14日
奥羽太田ロードレース大会実行委員会
会長 高橋 幸

308

第9回奥羽太田ロードレース大会

写真/第9回奥羽太田ロードレース大会(10月14日)

平成20年度予算

「予算」 それはまちづくりの設計図

予算とは、市の1年間の収入と支出の計画であり、まちづくりの設計図といえます。なぜなら、予算には、市民の1年間の暮らしが詰まっているからです。

家計に例えると「1年間の収入がいくらで、何にどれくらい使うか」というものを示したものです。家庭でいう給料などの収入を「歳入」、食費や生活費、教育費などの支出を「歳出」といいます。

市の予算は、大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに分かれています。これらを取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるものです。

一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し特別会計や企業会計は、特定の事業に限定した収支で経理します。

■一般会計予算

高齢者福祉や児童福祉、健康保健、道路整備、ごみ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたものです。市役所

の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれています。

■特別会計予算

一般会計とは切り離して特定の事業ごとに経理する予算です。国民健康保険事業や老人保健事業、下水道事業など、主に保険税や使用料など、特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、市では23の特別会計を設置しています。

■企業会計予算

独立採算といった民間企業に似たよう

な仕事をする予算です。市では、市立大曲病院事業と下水道事業の2つの企業会計を設置しています。

予算は、市が1年間に使うお金の「単なる目安」ではありません。予算には強い拘束力があります。市は、成立した予算に従って計画どおりに事業を行わなければならないなりません。つまり、予算が決まるということは、市が行う事業が決まるということです。

市の1年間の「設計図」。「今年の一手」を次ページから紹介します。

自立・持続可能な財政基盤の確立

分岐点となる重要な今年度予算

「市民との協働のまちづくり」を基本に

大仙市の基盤を固める予算がスタート



毎年行われるサケの稚魚放流のように、将来を見据え、持続可能な取り組みが大切です。
(大曲地域丸子川での放流事業)

会計別予算額

一般会計 412 億7,121 万4 千円

特別会計 237 億6,461 万円

企業会計 20 億3,705 万8 千円
計 670 億7,288 万2 千円

※ 22 ページの普通会計とは、全国共通ルールに基づき区分し直した統計上の会計区分です。
 大仙市の普通会計は、一般会計と「土地取得」「土地区画整理事業」「学校給食事業」「奨学資金」の4つの特別会計を合わせた会計です。

	平成 20 年度	平成 19 年度	増減額
一 般 会 計	412 億 7,121 万 4 千円	427 億 8,870 万円	△ 15 億 1,748 万 6 千円
特 別 会 計	237 億 6,461 万円	323 億 5,887 万 1 千円	△ 85 億 9,426 万 1 千円
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）	94 億 6,019 万 5 千円	93 億 7,804 万 3 千円	8,215 万 2 千円
国民健康保険事業特別会計（診療所勘定）	1 億 5,644 万 1 千円	1 億 5,833 万円	△ 188 万 9 千円
国民健康保険事業特別会計（歯科診療所勘定）	6,037 万 8 千円	6,027 万 6 千円	10 万 2 千円
老人保健特別会計	9 億 6,734 万円	94 億 6,733 万 5 千円	△ 84 億 9,999 万 5 千円
後期高齢者医療特別会計	9 億 5,899 万 4 千円	—	9 億 5,899 万 4 千円
土地取得特別会計	1,715 万 2 千円	1,772 万 2 千円	△ 57 万円
土地区画整理事業特別会計	22 億 3,566 万 1 千円	19 億 9,692 万 4 千円	2 億 3,873 万 7 千円
学校給食事業特別会計	9 億 6,509 万 4 千円	10 億 55 万 9 千円	△ 3,546 万 5 千円
奨学資金特別会計	3,981 万 3 千円	4,509 万 3 千円	△ 528 万円
宅地造成事業特別会計	4,646 万 2 千円	2 億 1,298 万 3 千円	△ 1 億 6,652 万 1 千円
簡易水道事業特別会計	23 億 674 万円	21 億 5,320 万 6 千円	1 億 5,353 万 4 千円
公共下水道事業特別会計	16 億 6,948 万 9 千円	21 億 284 万 6 千円	△ 4 億 3,335 万 7 千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	9 億 1,801 万 8 千円	7 億 693 万 5 千円	2 億 1,108 万 3 千円
特定地域生活排水処理事業特別会計	4,023 万 1 千円	5,483 万 9 千円	△ 1,460 万 8 千円
農業集落排水事業特別会計	19 億 6,549 万 5 千円	27 億 8,396 万 6 千円	△ 8 億 1,847 万 1 千円
介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計	8 億 7,473 万 1 千円	10 億 9,672 万 2 千円	△ 2 億 2,199 万 1 千円
介護老人保健施設介護サービス事業特別会計	8 億 4,196 万 7 千円	8 億 3,216 万 4 千円	980 万 3 千円
老人デイサービス事業特別会計	1 億 8,299 万 9 千円	2 億 2,583 万 4 千円	△ 4,283 万 5 千円
スキー場事業特別会計	4,818 万 8 千円	5,284 万 5 千円	△ 465 万 7 千円
内小友財産区特別会計	46 万 3 千円	46 万 3 千円	0 円
大川西根財産区特別会計	42 万 3 千円	29 万 5 千円	12 万 8 千円
大沢郷財産区特別会計	廃止	28 万 3 千円	△ 28 万 3 千円
荒川財産区特別会計	187 万 5 千円	298 万 5 千円	△ 111 万円
峰吉川財産区特別会計	257 万 9 千円	314 万 5 千円	△ 56 万 6 千円
船岡財産区特別会計	191 万 3 千円	228 万 5 千円	△ 37 万 2 千円
淀川財産区特別会計	196 万 9 千円	279 万 3 千円	△ 82 万 4 千円
企 業 会 計	20 億 3,705 万 8 千円	20 億 9,038 万 3 千円	△ 5,332 万 5 千円
市立大曲病院事業会計	9 億 9,023 万 4 千円	9 億 5,126 万 4 千円	3,897 万円
上水道事業会計	10 億 4,682 万 4 千円	11 億 3,911 万 9 千円	△ 9,229 万 5 千円
予 算 合 計	670 億 7,288 万 2 千円	772 億 3,795 万 4 千円	△ 101 億 6,507 万 2 千円

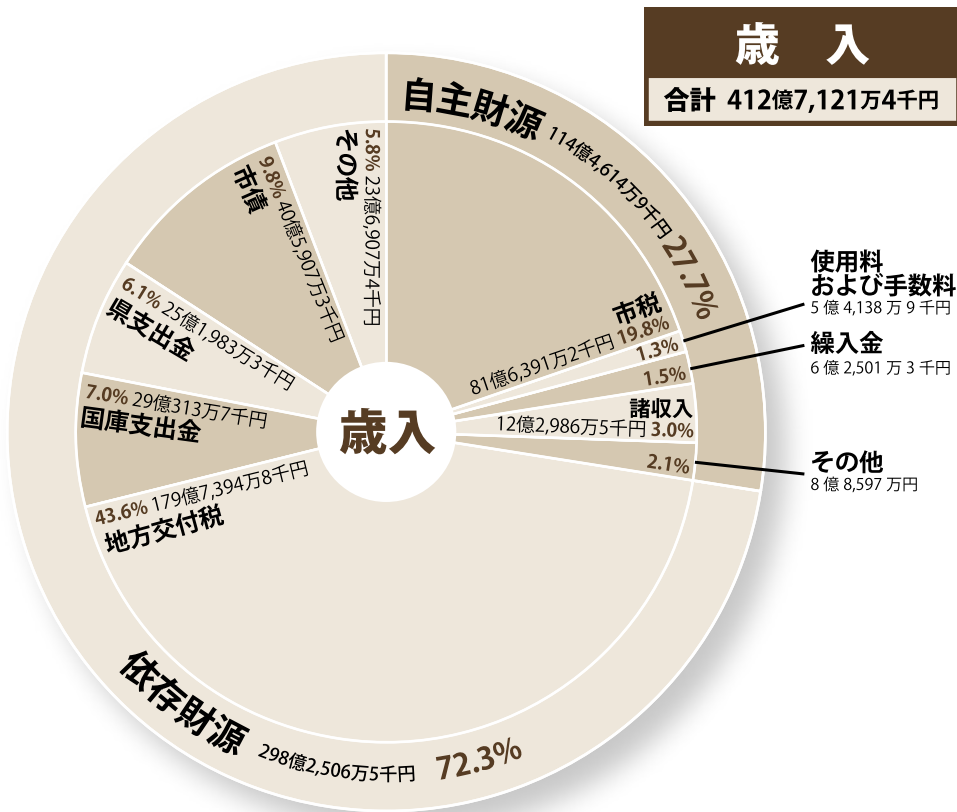
一般会計歳入

平成20年度の大仙市一般会計当初予算額は412億7千121万4千円、前年度との比較で15億1千748万6千円の減、率にして3・5%の減となりました。

歳入は市税や分担金、負担金、使用料、手数料などの「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。

自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保することができます。しかし、大仙市の自主財源は114億4千614万9千999円、率にして27・7%（前年比0・3ポイント増）と低い割合を示し、大部分を地方交付税や国・県支出金、市債などの依存財源に頼っている状況です。

市税収入の大きな伸びが期待できないことや依存財源が減少している中、自主財源を増やす



地方譲与税	9億7,352万4千円
利子割交付金	2,893万6千円
配当割交付金	1,306万4千円
株式等譲渡所得割交付金	1,260万5千円
地方消費税交付金	8億9,788万4千円
ゴルフ場利用税交付金	1,823万7千円
自動車取得税交付金	3億2,081万6千円
地方特例交付金	8,222万4千円
交通安全対策特別交付金	2,178万4千円

分担金および負担金	3億8,846万0千円
財産収入	4,750万9千円
寄付金	1千円
繰越金	4億5,000万0千円

財政用語

【歳入】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といいます。

▼自主財源：市が自主的に収入することができる財源のことです。市税、使用料および手数料、諸収入などがあります。

▼市税：住民のみなさんに納めていただく税金です。

▼依存財源：地方交付税や国・県支出金など、国や県から入ってくるお金です。

▼繰入金：積立金（基金）の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

▼地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で、普通交付税と特別交付税があります。地方交付税は、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として集められ

【コラム1】

行政活動の自主性と
安定性のため

自主財源の確保

— COLUMN —

広告収入

月に2回みなさんの手元に届けられる「広報だいせん」。昨年の10月16日号から有料広告が掲載されて、4月16日号からは裏表紙に大きくスペースを取っています。

みなさんにとって最も身近な情報誌である広報紙は、近年、広告媒体として注目され、全国的に広告を掲載する自治体が増えています。

広報紙に広告を掲載することは、広告料収入による自主財源の確保だけではありません。広報紙のスペースを企業や広告主に開放することであり、今まで広報紙に掲載することのできなかつた企業の情報などが掲載されることとなります。企業の売り上げやイメージアップなどの地域経済の活性化や住民サービスの向上といった効果も期待できます。

このような広告掲載による自主財源の確保は、今後、ホームページ、封筒、公用車、そして施設に企業名を冠する「命名権」といったものに広がっていくことが予想されます。

収納推進課を新設

みなさんから納めていただいている市税や使用料、負担金等ですが、未納額が平成18年度末で約13億円にも膨れ上がっていることをご存じでしょうか。

平日、休日の区別なく戸別訪問や夜間の相談窓口開設など、納めていただけるよう努めていますが、未納額は増加している状況です。市民負担の公平性や市の財源確保のためにも収納率向上は緊急に取り組まなければなりません。

市では、昨年設置した「収納対策推進チーム」を強化し、税務課から「納税班」を独立させ「収納推進課」を設置。収納率向上に努めています。

取り組みや財源の見直し、事務事業の見直しなど、行財政改革が急務になっています。

公共施設の建設費など多額のお金が必要なときに使用する「市債」。返済の一部が、地方交付税に算入される有利なものもあり、また、税負担の公平性を保つためにも必要です。

しかし、将来負担の軽減や財政健全化のためには市債発行額を抑制しなければなりません。

今年度の一般会計における市債額は40億5千907万3千円で、前年度に比較して10億9千332万7千円の減になります。

◆財政調整基金および減債基金の状況◆

項目	18年度末残高	19年度末残高	20年度 予算編成後残高
財政調整基金	15億896万2千円	12億6,243万4千円	6億9,243万4千円
減債基金	4億4,900万6千円	1億6,500万2千円	1億8,000万2千円
計	19億5,796万8千円	14億2,743万6千円	8億7,243万6千円

財源調整を図る主要な基金に「財政調整基金」「減債基金」があります。

市の預貯金である基金の20年度予算編成後の残高額は、18年度末残高の半分以下にまで減っています。

◆市債の状況◆

項目	19年度当初予算額	20年度当初予算額	対前年比較
一般会計	51億5,240万円	40億5,907万3千円	△10億9,332万7千円
特別会計	37億730万円	34億2,180万円	△2億8,550万円
計	88億5,970万円	74億8,087万3千円	△13億7,882万7千円

多額のお金が必要なときに使用する「市債」。

返済の一部が地方交付税に含まれるなど有利な場合もあり、また税負担の公平性を保つためにも必要なものです。

しかし、市債は借金に変わりなく、財政規模に見合った使い方が必要です。市では市債発行額を抑え、財政健全化に向けた取り組みを行っています。

た財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再配分するものです。

▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。

▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。

▼市債：市の借入金(借金)で償還が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるものの財源に充てられます。

一般会計歳出

厳しい財政状況を考え、事務事業の規模、必要性、優先順位等について見直しを行い予算を編成しました。

「市民との協働のまちづくり」を基本とした市の基礎を築くため、新規施策や継続事業に重点的に配分した予算をつくりました。

特に「子育て支援」「教育の充実」「高齢者対策」については、市の大きな課題として取り組んでいます。

また、社会福祉施設などの法人化推進の実施初年度なることから、これらにかかわる事業には優先的に予算を配分しています。このほか、地域の特徴、独自性を生かしつつ地域課題に対応するため「地域枠予算」を前年度と同額の予算を計上しています。

目的別歳出

合計 412億7,121万4千円



目的別歳出のその他

災害復旧費	4,221万6千円
諸支出金	3,000万0千円
予備費	5,000万0千円

【目的別歳出】

地方公共団体が行う事業を目的別に分類するもので、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。

▼議会費：議会運営のための経費です。

▼総務費：行政全般の事務などに関する経費です。

▼民生費：障害者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費です。

▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。

▼農林水産業費：農林業振興のための支援や生産基盤整備などの経費です。

▼商工費：商工業や観光の振興のための経費です。

▼土木費：道路や川、公園など社会資本整備のための経費です。

▼教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費です。

▼公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の元金・利子や一時借入金（利子）を支払うための経費です。

財政用語

▼災害復旧費：災害で被災した施設などを復旧するための経費です。

▼諸支出金：他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。

▼予備費：予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための科目です。

【性質別歳出】

地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分できます。義務的経費は、人件費、扶助費、公債費で、支出が義務づけられている経費です。投資的経費は、道路や公共施設の建設といった行政水準の向上にかかる経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されます。

▼人件費：議員報酬、職員給与などです。

▼扶助費：社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障害者などに対して行う支援のための経費です。

【コラム2】

自立・持続可能な 財政基盤の確立 見直す財政計画

— COLUMN —

このままでは厳しい状況

「市の財政推移と今後の見通し」について算定した結果、現状のままでは非常に厳しい状況になることが予想されます。具体的には、22年度から24年度にかけて収支が保てないことが予想されるほか、22年度には突発的な災害や緊急時に備えて積み立てている基金が枯渇する恐れがあります。

現行の行政サービス水準を維持し、合併時に予定された公共事業をすべて実施した場合、財政はますます厳しくなります。最悪の場合、公共料金等の値上げや行政サービスの廃止・縮小など、住民生活にさまざまな影響を及ぼすことが考えられます。

このような事態を回避するために、20年度および21年度において集中的な改革を図るとともに、財政健全化に向けた具体的な取り組みを実施しなければなりません。

財政改革の2本柱

①市債発行額抑制

市の借金である「市債」の返済に係る「公債費」の増加は、合併前に旧市町村で実施したり、旧市町村から引き継いだ事業などの借金の支払いが年々増加しているためです。

今後は、長期的な視野に立ち市債発行額の大幅な抑制を図り、今後の返済額を圧縮し、将来負担の軽減を図ります。

②基金に頼らない財政運営

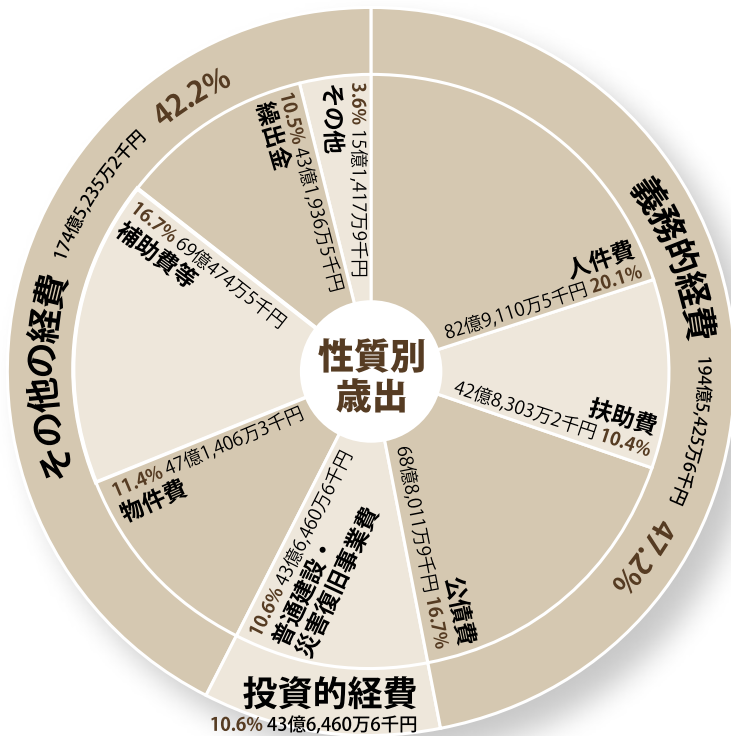
合併後の各年度において事業費の不足分を家庭における預貯金にあたる「基金」の取り崩しによって、収支を保ってきました。

今後は、徹底した歳出削減や自主財源の確保など、基金の取り崩しに頼らない財政運営を図っていかねばなりません。

その他の経費のその他内訳	投資的経費内訳
維持補修費 3億259万8千円	普通建設事業費 43億2,239万0千円
貸付金 7億754万6千円	災害復旧事業費 4,221万6千円
投・出資金 951万0千円	
積立金 4億4,252万5千円	
予備費 5,200万0千円	

性質別歳出

合計 412億7,121万4千円



▼公債費：市の借金などを償還するための経費です。
▼普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要とされる経費です。
▼災害復旧事業費：災害で被災した施設などを復旧するための経費です。
▼物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費です。
▼補助費等：市から他の団体などに対して行政上の目的から支払う経費です。報償費（講師謝金等）、役務費（保険料等）、負担金・補助金および交付金（助成金等）などが該当します。

▼繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費です。
▼維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費です。
▼貸付金：地域住民の福祉増進や地域の振興を図るため、市が直接あるいは間接的に現金の貸付を行うための経費です。
▼投・出資金：財産を有利に運用するための国債などの取得や、公益上の必要性による会社の株式の所得などに要する経費です。
▼積立金：財政運営を計画的にするため財源変動に備えて積立てる経費です。

地域特性を生かした地域づくり

地域枠予算

地域枠予算は平成18年度予算から創設され、市民と行政の協働のまちづくりを推進するための予算です。

事業主体によりI型からIII型まで分類でき、地域ボランティアの育成や地域住民との協働事業、道路や施設等の修繕といった緊急を要するものなどを対象として、各地域の地域協議会との協議により予算が使われます。

動、地域ボランティア活動、環境美化活動、食育に関する事業、地域づくり講座の実施など地域の特色や地域が抱える課題に対応した事業が実施されました。

今後とも、各地域協議会からの意見を踏まえ、地域が抱えている課題に対して地域住民が連携し、この予算を活用することで、市民のまちづくりへの参画意識を高めるとともに、協働型のまちづくりを進めていきます。

地域のみんなが動く
市も協力
地域が活性化

◆ I 型 / 市が事業主体として実施

地域名	事業名
大 曲	-
神 岡	農産物地産地消促進事業 ボランティア活動支援事業 地域案内表示類整備事業 緊急処理事案対応措置事業 市民生活道路交通安全整備事業 耕作道路保全事業 神宮寺バイパス開通記念事業 看板補修事業
西仙北	自治会要望緊急対応措置事業 地域環境美化事業
中 仙	中仙地域公共施設等除去枝処分手業 地域コミュニティ活性化支援事業 八乙女球場後玉川堤防環境美化事業 ボランティア活動支援事業 看板入替及び設置事業 コミュニティ備品修繕事業 国宝線刻千手観音等鏡像パンフレット作製事業 こめこめプラザ外部手すり等補修塗装事業 イベント用品整備事業 桜テングス病枝除去事業
協 和	わか杉国体炬火リレー式典事業 まほろば唐松能楽殿備品五色揚幕修繕事業 一ノ渡会館和室床補修事業 佐土原交流事業記念品贈呈 半仙団地木形台集団移転地誘導看板設置委託事業 物部長穂氏資料保存改善事業 高寺バス停修繕事業
南 外	自治会人材育成セミナー 地域づくりパンフレット発行事業 観光案内板整備事業 ふるさと南外の会地域特産品PR事業 そばの地産地消推進事業 地域交通政策バス停支柱設置事業
仙 北	史跡の里の秋まつり せんぼく歌の共演事業 地域づくり講座実施事業 地域緊急対応措置事業
太 田	地域内観光誘導看板設置事業

主体的な
動が
展開
います



III型
キッズ安全見守り活動事業
(中仙)



II型
自治会連絡協議会支援事業
「地域づくり講演会」(西仙北)



I型
神宮寺バイパス開通記念事業
(神岡)



II型
姫神山登山道補修事業
(大曲)

平成 19 年度における地域枠予算の事業実施状況

◆Ⅲ型／地域の団体が事業主体として実施

地域名	事業名
大 曲	第 3 回全国誌上花火川柳大会
	秋田わか杉国体記念大仙市民健康マラソン大会 兼第 70 回秋田走友会秋季記録会、県内マラソン会
	地域いきいきビジョン活動支援補助金事業（8 団体）
	大曲地区 「ブルーノタウト・丸子川まつり」
	大曲地区 「和と元気のある曲陽をみざして」
	花館地区 「花館の夢のせて、いきいきプラン」
	内小友地区 「美しい四季 癒しの郷構想」
	内小友地区 「生かせアイデア 創ろう未来」
	藤木地区 「みんなが愛する ふじきの里」
	角間川地区 「笑顔 行き交う この町に」
四ツ屋地区 「玉川の清流に夢のせて」	
神 岡	自治会連合会組織強化事業
	桜管理サポート事業
	道路沿線花壇等整備事業
西仙北	古文書解読事業
中 仙	八乙女公園整備並びに活性化事業
	キッズ安全見守り活動事業
	中仙小学校区域パトロール隊事業
	全国ジャンボうさぎフェスティバル 20 周年記念協賛事業
	玉川通り町内会街灯設置事業
	上鏡台ゲートボール場整備事業
	学童相撲唐松大会事業
	桜植樹と環境整備事業
	稲沢サマーフェスティバル事業
	韓国スタディツアー（派遣）事業
協 和	佐土原交流事業
	本郷盆踊り事業
	協和カラオケ発表大会及びボランティア活動事業
	荒川地区グラウンドゴルフ普及振興事業
	下淀川地区グラウンドゴルフ普及及び健康増進事業
	稲沢の雪祭り事業
	一人暮らし老人除雪支援事業
	能楽振興事業
	公益活動支援事業
	地域活性化支援事業
南 外	交通安全推進活動補助金
	地域づくり活動団体補助金
仙 北	地域づくり活動団体補助金
太 田	地域づくり事業補助金

◆Ⅱ型／地域の団体と市との協働事業

地域名	事業名
大 曲	姫神山登山道補修事業
	古四王神社見学会事業
	松倉会館前広場舗装事業
神 岡	花いっぱい運動推進事業
	幹線用水路保全啓蒙事業
	地域表示板設置事業
	地域文化祭開催事業
	地域ぐるみあいさつ運動推進事業
西仙北	自治会連絡協議会支援事業
	地域美化活動事業
	子ども安心安全事業
	鞆管作成事業
	地域文化の継承事業
中 仙	雄、雌清水の環境整備事業
	水芭蕉の保護、保存活動事業
	市道中仙 25 号線上危険枝除去事業
	中仙公民館豊岡分館環境整備美化活動事業
	部落会館駐車場法面補修及び環境美化事業
協 和	中仙庁舎西側、八乙女荘、桜寿苑環境美化活動事業
	下中嶋多目的公園造成事業
	峰吉川小学校グラウンド整備事業
	国体会場周辺花いっぱい運動事業
	第 12 回きょうわミニコンサート事業
南 外	第 35 回協和地域読書感想文コンクール事業
	逢田ため池漏水補修事業
	落合運動広場整地事業
	わか杉国体開会式式典演技者送迎事業
	高野堤外来魚駆除事業
仙 北	河川清掃
	食を考える集い
	地域と協働のまちづくり事業
太 田	会館駐車場等整備事業
	芸術文化振興事業
	集落会館等周辺環境施設整備事業
	地域活性化推進事業
	花いっぱい運動推進事業、秋田わか杉国体歓迎事業
太 田	太田の秋まつり開催事業
	道路愛護推進事業
	立教大学（硬式）野球部夏季合宿支援事業
	太田町史刊行記念事業
	冬季少年少女野球教室



Ⅱ型
花いっぱい運動推進事業
(太田)



Ⅰ型
地域づくり講座実施事業
(仙北)



Ⅲ型
地域活性化支援事業
「輝きフェスタ」(南外)



Ⅲ型
稲沢の雪祭り事業
(協和)

自主的・
市民活
市内で
されて

DATE: 平成 20 年度

収入

家族全員で稼いだお金 <small>市税・使用料・手数料・諸収入などの自主財源</small>	194 万円
両親からの仕送り <small>地方譲与税・地方交付金・国庫支出金など</small>	437 万円
銀行からの借り入れ <small>市債</small>	69 万円

合 計 700 万円

支出

食費 <small>人件費</small>	141 万円
医療・教育費 <small>扶助費</small>	73 万円
ローン返済 <small>公債費</small>	117 万円
光熱水費・通信費・日用品の購入など <small>物件費など</small>	100 万円
子どもの小遣い・保険料・税金・町内会費など <small>補助費等</small>	117 万円
家の増改築・修繕など <small>普通建設事業費など</small>	79 万円
子どもへの仕送り <small>繰出金</small>	73 万円

合 計 700 万円

【コラム3】

市の予算を家計簿に たとえると 家計簿に見る予算

— COLUMN —

市の予算は「億」単位で数字が大きすぎて実感がわきません。

そこで市の予算を年収 700 万円の家庭に当てはめてみました。(年収 700 万は、総務省統計局で発表している「秋田県の1世帯当たり年間収入」である 681 万円を参考)

市の予算にはいろんな種類の歳入や歳出があり、普通の家庭とはちょっと違った内容になっています。

例えば、「食費」は必要経費として人件費を当てるなど、一般家庭の家計簿に当てはめました。

一つの目安としてご覧ください。








【コラム4】

予算を人口数で考える

一人当たりの予算

— COLUMN —

8 ページの目的別歳出を基に、平成 20 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳に記載される人口 9 万 3,103 人で「市民一人当たりの予算額」を算出しました。高齢者や障害者、児童等への福祉に使われる「民生費」が一番多く使われています。

衛生費  50,671円	民生費  109,425円	総務費  50,149円	議会費  3,363円
土木費  48,016円	商工費  11,247円	農林水産業費  29,467円	労働費  1,759円
その他  1,313円	公債費  67,567円	教育費  52,385円	消防費  17,923円

主な事業説明



限られた財源の中
みんなの笑顔が
花咲くように
いろんな事業が行われます

安心して健やかに暮らせるまちづくり

—健康福祉分野—

各項目の上から「事業名」「事業費」「財源内訳」(市の分には市債が、その他には諸収入等が含まれます)「担当課所」「事業内容」

法人立保育所補助金・

寄附金・貸付金

2億2,187万3千円
(市1億9,687万3千、その他2,500万)
【児童家庭課】

公立で運営している保育所を法人運営に移行するため、その引き受け法人として新設される社会福祉法人が早期に安定した法人経営ができるよう支援します。

法人立乳児保育園建設費

補助金・貸付金

2億3,000万円
(市1億8,291万、国県4,709万)
【児童家庭課】

大曲乳児保育園移転改築工事費等の一部を市が助成します。

母子保健推進費

4,369万1千円
(市3,670万1千、国県699万)
【健康増進センター】

妊婦の疾病の早期発見および早期治療を促進し、妊婦の保健管理の向上と安心して妊娠・出産できる環境づくりに努めます。

子育て支援として当市の妊婦健診15回公費助成は全国的にもトップレベルで、県内外からも注目されています。

障害福祉サービス利用者等

支援事業費

2,067万円
(市1,400万7千、国県666万3千)
【援護福祉課】

障害者施設入所者の負担軽減や通所サービス利用者の送迎サービスにおける事業者負担の軽減を図ります。

市民協働型子育て

支援モデル事業費

45万円
(市45万)
【総合政策課】

地域住民が主体となり、世代間交流等を通して市民協働型子育て支援モデル事業を推進する自治会に対し、事業費の一部を市が補助します。

地域児童健全育成推進事業費

6,858万8千円
(市3,521万3千、国県1,021万5千、その他2,316万)
【児童家庭課】

保護者が就労等のため日中家庭にいない児童に対し適切な遊びの場を提供する等の事業を行います。

ふれあいセンター事業費

269万5千円
(市269万5千)
【児童家庭課】

子育て親子の交流の促進および子育てをする家庭への支援を推進します。児童の健全育成を図りながら地域住民の交流拠点として活用します。

特別保育支援事業費

6,729万5千円
(市4,410万6千、国県2,318万9千)
【児童家庭課】

共働き家庭の増加、核家族世帯の増加、就労形態の多様化等から延長保育や一時保育の要望が増加しています。特に支援を要する園児のために支援員を配置する費用を助成し、これらの園児、支援員に対し適切な指導助言を行う保育アドバイザーを配置します。

予防接種経費

7,343万3千円
(市6,903万3千、その他440万)
【健康増進センター】

乳幼児および児童生徒と高齢者に対する予防接種率の向上を図り、公衆衛生の増進を目標とします。

健康づくり推進費

886万円
(市534万8千、国県50万、その他301万2千)
【健康増進センター】

健康大仙21計画に沿い、食生活および生活習慣の改善等健康づくりを支援します。

①食育推進計画策定事業(新規)②食生活改善推進員養成事業③フッ素洗口事業④運動による健康づくり⑤医療と健康を考える集いの開催⑥健康カレンダー全戸配布

自殺予防対策費

100万1千円
(市50万1千、国県50万)
【健康増進センター】

自殺予防の普及啓発やうつ対策等きめ細かな対策を行います。

①自殺予防協議会(仮称)・・・ネットワークの構築②自殺予防キャンペーンの実施③自殺予防相談④講演会・研修会の開催⑤自殺予防実務職員の研修

保健事業費

1億2,012万6千円
(市9,808万7千、国県22万5千、その他2,181万4千)
【健康増進センター】

健康増進のために必要な各種健(検)診を実施。健康寿命の延伸を図り要精密検診者への医療機関受診率の向上を目標とします。

①検診事業②健康教育③健康相談

未来を創り心豊かな人を育むまちづくり

—教育分野—

(共、創、考、開をテーマに)

各項目の上から「事業名」「事業費」「財源内訳」(市の分には市債が、その他には諸収入等が含まれます)「担当課所」「事業内容」

第1節 健康福祉

第2節 教育

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 環境・安全

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進

池田氏庭園整備事業費

6,215万3千円

(市3,115万3千、国県3,100万)

【教育委員会文化財保護課】

国指定名勝「池田氏庭園」は、平成16年度から庭園整備事業が行われています。今後は、大仙市の文化財の主要拠点として、他の文化財と連携して歴史散策コースの設定などを行い、先人の文化遺産を通して市民の文化意識の高揚と啓発を図ります。

池田氏庭園土地買上事業費

6,602万4千円

(市320万5千、国県5,281万9千、その他1,000万)

【教育委員会文化財保護課】

名勝指定地内の宅地の買い上げ、池田家居宅の移転補償を行い、整備計画に従って庭園保存・景観保存のために公有地化します。

払田柵跡環境整備事業

487万4千円

(市262万4千、国県225万)

【教育委員会文化財保護課】

年次計画で進めている史跡外郭北東部整備の一環として、外郭北門遺構の立体表示に対応した外郭北東部周辺の盛土整地工事を行います。遺跡北部への見学ルートが整備されます。

大仙市スポーツ振興計画

策定事業費

140万4千円

(市1,404)

【教育委員会スポーツ振興課】

スポーツ活動の充実、スポーツ団体および指導者の育成、スポーツおよびレクリエーションの充実と行事の一本化、スポーツ施設の整備計画などを盛り込んだスポーツ振興計画を策定します。

法人立幼稚園補助金・特別

支援教育費補助金・寄付金

5,342万4千円

(市5,342万4千)

【教育委員会学校教育課】

市立幼稚園の移譲を受けた社会福祉法人の円滑な運営に向けて支援を行います。

学校等遊具整備事業費

687万8千円

(市687万8千)

【教育委員会学校教育課】

危険遊具の撤去等により遊具が極端に不足している小学校・幼稚園があるため、ブランコ・鉄棒・うんていを遊具設置基準とし、この3種類の遊具が1台も設置されていない小学校と幼稚園に年次計画で整備します。

幼保一体型施設建設事業費

2億3,354万円

(市2億3,354万)

【教育委員会施設管理課】

多様な保育ニーズに対応し、地域子育て支援の核として神岡地域に幼稚園、保育園の一体的施設を建設します。

放課後子ども教室推進事業

306万円

(市106万、国県200万)

【教育委員会生涯学習課】

全小学校区において、放課後や週末等に地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ文化活動、地域住民との交流活動を行います。学ぶ意欲のある子どもたちに学習機会の充実を図るとともに、安全・安心な居場所づくりに努めます。

学校生活支援事業費

5,939万3千円

(市5,664万8千、国県274万5千)

【教育委員会学校教育課】

さまざまな課題がある児童生徒が在籍する学校に支援員を配置し、学校教育の充実を図ります。

体験的学習時間支援事業費

1,770万7千円

(市1,770万7千)

【教育委員会学校教育課】

小・中学校における各教科等(総合的な学習の時間含む)での体験的な学習を通して、学力の定着や向上を図ります。

外国語指導助手等招致事業費

3,870万4千円

(市3,796万、その他74万4千)

【教育委員会学校教育課】

国際理解教育および英語科教育の充実のために、外国語指導助手を配置し、児童・生徒の国際感覚、コミュニケーション能力の向上を図ります。

心ふれあうさわやか大仙事業費

71万4千円

(市71万4千)

【教育委員会学校教育課】

市内38小中学校が共通のテーマについて期間を統一して、子どもたちの望ましい基本的生活習慣や学習習慣の定着、向上に取り組みます。全小中学校が一体感をもって力強く日々の教育を実践します。

統合小学校整備事業費

2億1,899万6千円

(市1億9,652万6千、国県2,247万)

【教育委員会施設管理課】

4月開校した協和小学校のプールや屋外運動場の工事費。

いきいきと希望を持って活躍できるまちづくり

—産業・雇用分野—

各項目の上から「事業名」「事業費」「財源内訳」(市の分には市債が、その他には諸収入等が含まれます)「担当課所」「事業内容」

第1節 健康福祉

第2節 教育

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 環境・安全

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進

商店街環境整備事業費補助金

603万8千円

(市401万9千、国県201万9千)

【商業労政課】

商店街を訪れる方々の安全、安心、快適性の確保のため、商店街の照明設備の更新、修繕および維持管理に対する補助を行います。

企業誘致対策費

182万6千円

(市182万6千)

【企業対策室】

市内への企業誘致促進により、工業の振興および雇用拡大を図り、若者の定住促進と市内産業の発展を図ります。

花火伝統文化継承事業費

20万円

(市20万)

【総合政策課】

伝統文化としての花火を後世に残すため、「花火の街」から「花火に関する唯一の街」を目指します。

全国から花火関係資料の収集を行うため、収集方法、保管、展示等について調査・検討を行うとともに、資料収集のためのボランティア組織等の育成を行います。

大仙市雇用助成金

1,065万円

(市1,065万)

【商業労政課】

本市における新規雇用に対して助成金を交付します。

雇用機会の拡大を図るとともに若年層の地域定住を促進し、市の活性化を図ります。

畑作園芸振興事業費

521万4千円

(市521万4千)

【農林振興課】

稲作依存の農業から脱却し、畑作物の振興を図るため規模拡大等を進める農業者に助成します。

集落営農法人化推進事業費

1,576万4千円

(市1,276万4千、国県300万)

【農林振興課】

平成19年度から始まった水田経営所得安定対策の対象となる担い手を育成確保し、農業経営の改善と技術指導を行い、農業所得の向上を図ります。

森林整備地域活動

支援交付金事業費

5,604万7千円

(市1,401万6千、国県4,203万1千)

【農林振興課】

森林施業に不可欠な地域活動の実施により、適時適切な森林施業を通じた森林の有する多面的機能の持続的発揮を図ります。

中心市街地活性化対策事業費

100万円

(市100万)

【総合政策課】

大仙市としての中心市街地の位置、規模等を定めます。また、中心市街地の役割、活性化のための施策等について調査・検討を行うため、庁内体制の整備、商工会議所等が設置する「中心市街地活性化協議会」設立の支援および基本計画策定のための検討委員会等を設立、「大仙市中心市街地活性化基本計画」の策定を目指します。

産地づくり推進事業費

1,052万円

(市1,052万)

【農林振興課】

新たな米政策で国が目指している水田農業構造改革を確立し、地域振興作物等の産地づくりを推進。
①生産調整の確実な実施と地域振興作物等の作付け拡大②燃料菜の花の作付けを拡大するため、実証圃を設け検証します。

農業振興情報センター費

1,868万7千円

(市1,582万9千、国県135万、その他150万8千)

【太田農業振興情報センター】

農業後継者を育成するとともに市場や消費者ニーズにあった野菜、花卉などの栽培試験を行い、新規作物の導入を検討し、農家の栽培技術向上と農業経営の安定を図ります。

目指せ“元気な担い手”

農業夢プラン応援事業費

1億1,592万3千円

(市3,261万9千、国県8,330万4千)

【農林振興課】

農業機械・施設等の経費に対し助成し、地域農業の担い手の育成を図ります。

農地・水・環境保全

向上対策事業費

1億11万3千円

(市9,411万3千、国県600万)

【農林振興課】

農業者だけでなく多様な主体の取り組みで、地域全体で資源の保全を実施します。

地域に存する農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図ります。

生活基盤が整ったまちづくり

—都市基盤分野—

各項目の上から「事業名」「事業費」「財源内訳」(市の分には市債が、その他には諸収入等が含まれます)「担当課所」「事業内容」

第1節 健康福祉

第2節 教育

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 環境・安全

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進

まちづくり交付金事業費

【都市計画課、総合支所建設課】

国の制度である「まちづくり交付金事業」を利用し、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を生かした地域主導の個性あふれるまちづくりを進めます。

◆大曲駅周辺地区

8,875万9千円

(市5,325万6千、国県3,550万3千)

○事業内容

地域交流センター設計業務委託、測量委託、道路改良工事、用地取得ほか

◆神岡地区

2億9,126万5千円

(市2億10万2千、国県9,116万3千)

○事業内容

駅北線改良舗装工事、中央公園整備工事、駅前交流広場および北口交通広場整備工事、幼保一体施設外構工事、観光案内板設置工事など

◆旧街道周辺地区 (中仙)

3億2,072万1千円

(市1億9,262万8千、国県1億2,809万3千)

○事業内容

二日町石持線舗装工事、石持館ノ郷線改良舗装工事、新山5号線改良舗装工事、駅前3号線改良舗装工事、駅前広場整備工事など

◆羽後境駅周辺地区 (協和)

1億5,100万円

(市1億4,263万6千、国県836万4千)

○事業内容

公営住宅造成・外構工事、苅谷沢中央公園整備工事、地域案内看板設置工事など

地方特定道路整備事業費

3,500万円

(市3,500万)

【道路河川課】

地域課題に応えるため、早急に整備を行う必要がある「地方特定道路」の整備を行うもので、大曲地域内小友宮林線の歩道を整備します。

○事業内容

用地買収、排水工/L=120m

地域公共交通システム

運行事業費

1,779万7千円

(市1,779万7千)

【総合政策課】

生活バス路線廃止および交通空白地域解消のための市民コミュニティバス、デマンド型乗合タクシーの実証運行を行い、地域で支え合う地域公共交通事業を推進します。

各地域で4月から実証運行がスタートしています。

都市計画マスタープラン等

策定経費

3,089万6千円

(市3,089万6千)

【都市計画課】

大仙市共通の視点・認識に立ち都市計画(土地利用、市街地整備、道路・公園などの都市施設)を進めます。

平成21年度完成予定で都市計画マスタープランを策定します。

道路維持管理費

2億3,988万7千円

(市2億3,969万7千、その他19万)

【道路河川課】

供用されている市道について、老朽化による損傷箇所を随時、修繕や補修を行います。

道路新設改良費

2億6,300万円

(市2億6,300万)

【道路河川課】

住民が日常的に利用する生活道路について、利便性に加え歩行者や自転車利用者にとって安全性・快適性が確保できるように道路整備を行います。

地方道路交付金事業費

【道路河川課】

国が創設した地方道路整備臨時交付金制度を利用し、道路整備を行います。

◆古四王際飯詰線 (大曲)

2,943万円

(市1,324万4千、国県1,618万6千)

○事業内容

改良工事/L=150m

◆黒森山線 (西仙北)

6,821万9千円

(市3,069万9千、国県3,752万)

○事業内容

土工・法面工ほか/L=520m

◆中仙4号線 (中仙)

950万

(市427万5千、国県522万5千)

○事業内容

改良舗装/L=80m

◆愛宕下、浮島、合貝跨線橋

3,000万

(市1,350万、国県1,650万)

○事業内容

秋田新幹線に架かる跨線橋の落下防止工事

生活基盤が整ったまちづくり

—都市基盤分野—

各項目の上から「事業名」「事業費」「財源内訳」(市の分には市債が、その他には諸収入等が含まれます)「担当課所」「事業内容」

第1節 健康福祉

第2節 教育

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 環境・安全

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進

特定環境保全

公共下水道事業費

3億1,293万9千円
(市2億2,664万9千、国県8,131万5千、
その他497万5千)
【下水道課】
市街化区域以外において下水道整備を進めます。

- 工事区域
中仙、南外

特定地域生活排水

処理事業費

1,142万円
(市882万6千、国県150万、
その他109万4千)
【下水道課】
公共下水道事業および農業集落排水事業の区域外において、公衆衛生の向上、良好な生活環境の確保、水質保全を図ります。

- 工事区域
西仙北、協和

農業集落排水事業費

8億4,034万2千円
(市4億3,479万4千、国県3億8,019万、
その他2,535万8千)
【下水道課】
農業用水の水質保全と農村地域の生活環境の向上のため、農業集落排水処理施設の整備を進めます。

- 事業内容
処理施設工、管路施設工など

浄化槽設置整備事業

9,987万8千円
(市5,234万7千、国県4,753万1千)
【下水道課】
公共下水道事業および農業集落排水事業の区域外において、合併処理浄化槽を設置する場合に、その設置費用の一部を補助します。

大仙市地域水道ビジョン

策定業務

1,239万円
(市1,239万)
【上水道課】
「地域水道ビジョン」は水道事業の将来像を描き、この中で水道料金改定についても検討します。

水道事業費

水道事業により安全で安心な水を安定して供給します。

(上水道事業) 【上水道課】

◆大曲地区上水道配水施設
拡張改良事業
1億212万円 (市1億212万)

(簡易水道事業) 【各総合支所建設課】

◆北檜岡地区簡易水道事業
710万円 (市710万)

◆神宮寺地区簡易水道事業
1,590万円 (市1,590万)

◆刈和野地区簡易水道事業
1億8,733万9千円
(市1億3,851万4千、国県4,882万5千)

◆大沢郷地区簡易水道事業
5億5,924万4千円
(市3億5,564万4千、2億360万)

◆入角地区簡易水道事業
2億4,656万1千円
(市1億5,256万1千、国県9,400万)

◆戸地谷地区簡易水道事業
3億1,925万1千円
(市2億1,295万1千、国県1億430万、
その他200万)

公共下水道整備事業

4億3,138万8千円
(市2億3,623万1千、国県1億7,358万、
その他2,157万7千)
【下水道課】
下水道整備を進め、健康で快適な社会環境を確保し明るく豊かな市民生活の実現を図ります。

- 工事区域
大曲地域／日の出町、飯田、
丸子町、戸巻町
神岡地域／駅前、北檜岡

大曲駅前第二地区

土地区画整理事業費

【土地区画整理事務所】
市の中心市街地で商店街や住宅地域で構成されている駅前第二地区の地区特性を十分活用できるような基盤整備を進めます。

◆補助分
6億6,600万円
(市3億2,450万、国県3億4,150万)

- 事業内容
中通こ道橋新設工事、区画道路新設工事、整地工事など

◆単独分
3,175万7千円
(市3,175万7千)

- 事業内容
大花町県道切り回し工事など

◆県補助分
275万1千円
(国県275万1千)

- 事業内容
換地設計業務委託、仮設店舗修繕費など

住宅市街地総合整備事業費

9億7,426万9千円
(市5億6,485万5千、国県4億941万4千)
【土地区画整理事務所】

大曲駅前第二地区区画整理事業に伴い、老朽住宅が密集している大花町地区住民の一時的な集団移転のために都市再生住宅を建設します。また、あわせて同地区において下水道・防火水槽・集会所、児童遊園等を整備し居住環境の向上を図ります。

- 都市再生住宅概要
・RC造 7階建
・戸数／52戸
・子育て支援施設
・高齢者生活相談施設

環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり

—環境・安全分野—

各項目の上から「事業名」「事業費」「財源内訳」(市の分には市債が、その他には諸収入等が含まれます)「担当課所」「事業内容」

第1節 健康福祉

第2節 教育

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 環境・安全

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進

防犯対策関係経費

32万9千円

(市32万9千)
【消防安全課】

安全・安心まちづくり条例を制定し、自主防犯、防災組織の結成を促進します。

①大仙市安全・安心まちづくり推進集会の開催②安全・安心アカデミーを市内3会場で開催

総合防災訓練費

203万1千円

(市133万1千、その他70万)
【消防安全課】

秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部主催による総合防災訓練が、8月29日に神岡地域で行われます。

地震および火災を想定した各種訓練、災害予防と応急救護、救出訓練を実施します。

防災ハザードマップ作成費

107万4千円

(市36万、国県71万4千)
【消防安全課】

震災、洪水、土砂災害のハザードマップを統合したものを作成し、全戸、避難所等に配布します。

北海道・東北ブロック緊急

消防援助隊合同訓練関係費

564万6千円

(市564万6千)
【消防安全課】

雄物川河川敷を会場に10月15、16日の両日、北海道・東北ブロック緊急消防援助隊合同訓練が行われます。

防災における広域的な連携活動能力の向上を目指し、また市民参加を通じて防災意識の高揚を図ります。

仙北ふれあい公園事業費

1億1,924万円

(市5,962万、国県5,962万)
【仙北総合支所建設課】

仙北ふれあい文化センター隣接地に新体育館を建設します。工事は今年度と来年度の2カ年。

ごみ不法投棄防止関係費

660万7千円

(その他660万7千)
【環境課】

ごみの不法投棄防止のため、不法投棄監視カメラを導入するほか、現在の監視パトロールの回数を増やすなど監視体制を強化します。

廃棄物減量化対策費

4,504万6千円

(その他4,504万6千)
【環境課】

家庭ごみの減量化、再資源化へ向け家庭ごみの有料化を実施し、それにあわせて食品トレイ、発泡スチロールの拠点回収を行います。

ごみ減量対策処理機補助金

250万円

(その他250万)
【環境課】

電気式生ごみ処理機購入費の一部を補助します。補助率は現行どおり購入費用の2分の1以内ですが、限度額を2万円から5万円まで拡大します。

資源ごみ集団回収補助金

30万円

(市30万)
【環境課】

地域の団体が行う資源ごみ回収に対して補助を行います。補助対象期間は2年間で、実施団体の申請に基づき、回収量1kg当たり2円を交付します。

環境学習推進費

20万円

(市20万)
【環境課】

子どもから大人までの幅広い世代に対応した環境学習メニューを充実させ、地球温暖化、廃棄物といった環境問題に対する意識の向上を図ります。

①自然観察会の実施②小学4年と保護者を対象に「子ども用エコチャレンジシート」を活用した取り組み③ごみ処理施設やリサイクル施設の見学学習会

地域住宅交付金事業費

1億682万円

(市5,731万2千、国県4,950万8千)
【西仙北総合支所建設課】

西仙北地域の北ノ沢地区に市営住宅4戸を建設します。若者定住促進による魅力あるまちづくりのため、年次計画で住環境整備を図ります。

飯田沼つり公園整備事業費

900万円

(市900万)
【都市計画課】

大曲地域の飯田沼つり公園を整備します。今年度は昨年度に引き続き板柵を設置します。

この公園整備は計画段階から市民参加を募り、維持管理や運用面も含め市民参加で進めています。

南外ふれあいパーク事業費

920万円

(市920万)
【南外総合支所建設課】

生涯スポーツ、余暇を過ごす公園として整備を進めています。グラウンド・ゴルフ場の駐車場整備とトイレ設置工事を行います。

仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり

—地域情報・交流分野—

各項目の上から「事業名」「事業費」「財源内訳」(市の分には市債が、その他には諸収入等が含まれます)「担当課所」「事業内容」

地域振興事業費 (地域枠)

4,500 万円

(市 4,500 万)

【総合政策課】

地域が抱えているそれぞれの課題に対して、住民が自主的かつ主体的に行政と一体となって事業を行うことで、住民と行政の協働のまちづくりを推進します。

予算額は大曲地域 1,000 万で、それ以外 7 地域は各 500 万。

自治会育成支援事業費補助金

2,224 万 8 千円

(市 2,224 万 8 千)

【総合政策課】

自治会の組織化と住民主体の地域づくり活動、自主運営している自治会館等の維持管理費経費の一部を補助し、地域の活性化と協働のまちづくりの人材育成を推進します。

小規模集落コミュニティ

対策事業費

343 万 5 千円

(市 343 万 5 千円)

【総合政策課】

高齢化率が高く、コミュニティ機能が低下している小規模集落等の現状と課題を把握し、コミュニティ機能の再生・活性化を検討します。

「ふるさと納税制度」関連経費

100 万円

(市 100 万)

【総合政策課】

国が新たな制度として創設を予定している「ふるさと納税制度」に適切に対応するシステムを構築します。市出身者をはじめ、多くの方々から大仙市の応援団となっただけのようなメニューを設け、多くの人たちからの寄付確保に努めます。

韓国唐津郡青少年交流事業費

52 万 4 千円

(市 52 万 4 千)

【男女共同参画・交流推進課】

韓国唐津郡と大仙市との青少年の相互交流を通じ、本市青少年の海外文化に対する意識を高めます。

綱引きが縁で始まった旧西仙北町と韓国唐津郡との相互交流をさらに深めます。

国際アジア民俗学会

関連事業費

491 万 7 千円

(市 491 万 7 千)

【男女共同参画・交流推進課】

アジアにおける稲作文化をテーマに、国際アジア民俗学会を大仙市で開催します。開催日は 10 月 9 日～ 12 日の予定。海外から多くの方々を訪れる機会を利用し、国際理解・協力を市民の理解を広げ、当市から世界に向けて情報を発信します。

計画の推進にあたって

アーカイブス構想策定

準備経費

20 万 4 千円

(市 20 万 4 千)

【総務課】

市の活動や歴史の事実を後世に伝えるため、市の公文書館機能の在り方、構築手法等を内容とするための事前調査、庁内検討会を行い、構想の素案をまとめます。

移動通信用鉄塔施設

整備事業費

8,126 万 7 千円

(市 2,432 万 8 千、国県 4,815 万、

その他 878 万 9 千)

【情報システム課】

南外荒沢地区の移動通信用鉄塔、通信設備を設置し、携帯電話の不感地域を解消し、地域間の情報通信格差の是正を図ります。

テレビ難視聴地域解消

施設整備事業費

2,043 万 4 千円

(市 639 万 3 千、国県 954 万 1 千、

その他 450 万)

【情報システム課】

大曲地域の内小友中山・小出沢地区テレビ共同受信施設設置事業に補助します。

男女共同参画推進経費

189 万 2 千円

(市 161 万 2 千、その他 28 万)

【男女共同参画・交流推進課】

男女共同参画の意識を喚起し、家庭や地域、職場における男女共同参画推進を図ります。

①男女共同参画講演会②写真・一行詩コンクール③男性料理教室などを実施。

韓国青少年ツアー受入事業費

63 万 1 千円

(市 63 万 1 千)

【男女共同参画・交流推進課】

韓国青少年北ソウル連盟から派遣される青少年を受け入れます。市の観光資源等を活用した国際交流を進め、市内経済の活性化や学校や市民との交流を行い、国際交流に対する市民の興味や関心を醸成します。

【コラム5】

知恵と工夫で

新サービス提供

ゼロ予算事業

— COLUMN —

事業を行うためには「予算」が必要です。

予算が「ゼロ」とは、これいかに？

「市ではお金がかからない事業を始めた。市もそこまできたのか…」と心配！

いえいえ、ゼロ予算事業とは、通常の事業予算を用いずに既存の設備や人材を積極的に活用する事業。知恵と工夫で市民に新しいサービスを提供する試みです。

「ひと」「もの」「予算」の組み合わせの見直し、新しい組み合わせの発見、市民との協働がキーワードになります。今の時代にあったサービスの提供、取り組みといえます。

大仙市のゼロ予算事業は平成18年度から取り組んでいます。昨年度は13事業、今年度は右表の31事業を準備。市民向けパソコン教室、高齢者世帯への除雪ボランティア、健康教室、職場体験、体験学習、学習支援、生涯学習など内容充実のメニューを準備しています。

市職員が得意とする分野あり、地域のみなさん、ボランティアのみなさんの力を必要とするものありと、魅力ある事業を展開しますが、そのためには、みんなの知恵と工夫、そして協力が大切です。

「市民との協働によるまちづくり」を目指す本市にとって、ボランティア団体との連携や地域の人材活用は命綱。

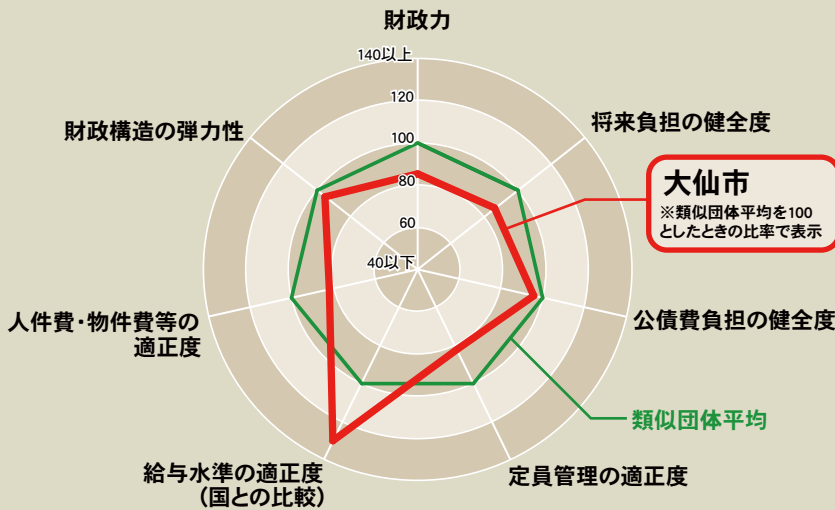
今後も、こうした取り組みを広く行政全般に取り入れ、みなさんとともに築き上げる公共サービスを目指します。

なお、ゼロ予算事業への参加募集については「広報だいせん」などでお知らせしますので、たくさんの参加をお願いします。

平成20年度のゼロ予算事業

	事業名	内容
1	チーム大仙プロジェクト (プロジェクトD)	若手市職員が大曲青年会議所との意見交換を行いながら実際に団体活動に参加
2	市民向けパソコン基礎講習会	受講料500円(テキスト代)で市民を対象としたパソコンの基礎操作講習会
3	健康福祉部要援護者 緊急除雪事業	ひとり暮らし高齢者世帯や障害者世帯を対象に、緊急的に家屋周辺を除雪
4	未熟児および低体重児 訪問指導事業	未熟児や低体重児を養育する母親等に対し、育児不安解消のため訪問指導を実施
5	市民健康教室	大曲仙北医師会、医薬品事業者の協力を得て、公開講座を開催
6	県南地区職場研修事業	県南地区の雇用開発協会や事業所、学校と連携し、仕事に対する認識を深める
7	大仙市文化財めぐり	所有者や保存会・ボランティア等の協力をいただき、市内文化財を見学
8	行政支援サービス事業	行政に関係のある新聞記事や参考図書などを職員に発信し、行政能力向上を図る
9	英語たいけん・ チャレンジ広場	児童・生徒が国際教養大学を訪問し、国際的な広い視野を広げる機会を提供
10	生涯学習講座「メダカの学校」	地域の方々が先生になって郷土史や民俗、文化などについての講座を開催
11	子ども自然観察会	児童・生徒を対象に自然観察会を実施
12	バックステージツアー	舞台裏作業や照明・音響等のデモ操作を通じて、舞台作業の楽しさなどを体験
13	こんなに広い私たちの大仙	小学生を対象に、市主要施設等を見学して大仙市の魅力や特色を再発見
14	イベントホール 無料開放 DAY 集合！バンドマン	仙北ふれあい文化センターのイベントホールを発表・練習の場として無料開放(1組90分を目安)
15	ゲストティーチャー紹介事業	学校での授業・部活動へ講師として派遣できる講師を紹介
16	太田学びい教室事業	小中学生を対象に、夏冬休みなどに学習会を開催
17	大曲庁舎駐車場ライン引き	大曲庁舎駐車場のライン引きを職員が実施
18	八乙女公園下刈作業	八乙女公園の管理を地域の団体と協働で実施
19	樹木の剪定および 伐採処分等事業	学校敷地内の樹木剪定や伐採、遊具の塗装などを職員が実施
20	ふるさと文化再興事業の受 託による指定文化財等保存 整備事業	財団法人伝統文化活性化国民協会の100%補助事業を利用して、伝承者養成・用具類整備・映像記録保存等を実施
21	国指定名勝池田氏庭園 リーフレット作成事業	池田家の功績顕彰を目的とする顕彰会と連携し、リーフレットを作成配布
22	ふるさと発見事業	社会教育指導員が主体となり、ふるさとの見所を撮影したビデオやDVDを作成し無償で市内の小中学校に配布
23	中高年の料理講習 「四季食菜クラブ」	中高年を対象に、地元産や家庭菜園の旬の野菜を使った料理講習
24	歩くスキー講習会 中高年スキー教室	西仙北スキー場とスキーハウスを核に歩くスキーを奨励
25	緑地運動広場スコアボード 竣工記念招待野球大会	スコアボード改修を記念し、西仙北分室職員が審判を担当する野球大会を実施
26	ふるさと探検学習	地域の文化財見学や自然観察を各団体と協力して親子を対象に開催
27	仙人大学公開講座	高齢者大学の学習会に公開講座を加え、学生以外への学習の機会を提供
28	カラオケ歌ってミニ同期会	市内の高校卒業生を対象に、同級生や部活仲間などとゲーム・カラオケ等を行う
29	「メタボをなくそう」 料理講習会	メタボリック症候群に対して地域レベルでの料理講習会を開催
30	健康づくりと食事	メタボリック症候群解消のため、地域をあげて予防に取り組む
31	地域を知ろう 「爽やか散歩・ハイキング登山」	地域を散歩することで、地域文化・歴史を再認識し健康維持に努める

市町村財政比較分析表



▶ 大仙市の財政を類似団体と比較分析しました。

他自治体と比較可能な指標を用いて、各市町村で分析しています。

レーダーチャートの見方は、緑が類似団体の平均で、その内側ほど適正度や健全度などが低く、外側ほど財政的に適正度が高いことを示します。

主な指標については次のとおりです。

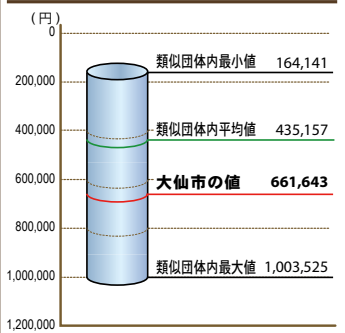
■ 大仙市データ

人口／	94,160 人
面積／	866.67 km ²
歳入総額／	52,493,455 千円
歳出総額／	51,093,678 千円
形式収支／	1,399,777 千円
実質収支／	1,381,422 千円

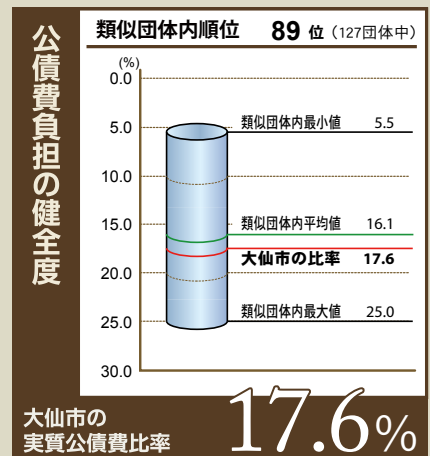
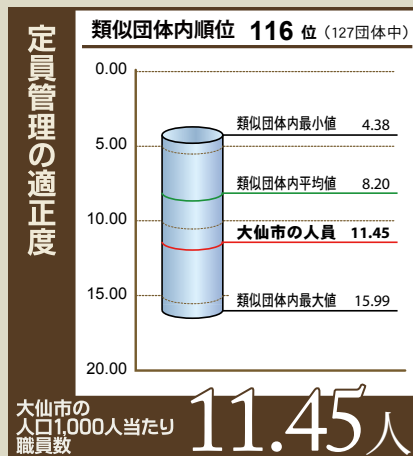
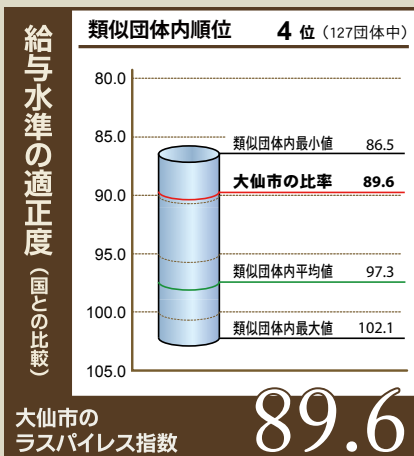
(平成 19 年 3 月 31 日現在)

将来負担の健全度

類似団体内順位 **112** 位 (127 団体中)



大仙市の人口1人当たり地方債現在高 **661,643円**



※ 類似団体とは 人口および産業構造等により全国の市町村を 35 のグループに分類したものです。
 ※ 大仙市が分類されたグループは、全国 127 の市が所属します。

○ 財政力指数
 人口の減少や、高齢化、また景気低迷による市税の伸び悩みなどから、類似団体平均を大きく下回る 0・34 となっています。今後、「市債発行額の抑制による将来負担の軽減」と「基金の取り崩しに頼らない財政運営」を財政改革の大きな柱に掲げ、普通建設事業や各種補助金の大幅な見直し、より一層の公共施設運営コストの削減、使用料等の見直しによる自主財源の確保を図るなど財政の健全化に努める必要があります。

○ 経常収支比率
 前年度を 0・4 ポイント上回る 94・6% となりましたが、主な要因としては、普通交付税および臨時財政対策債の減による経常一般財源の減、生活保護世帯の増や児童高齢者にかかる扶助費の増、長期債元利償還金の増による繰出金および公債費の増などがあげられます。依然として比率は類似団体および県内平均を上回る高い数値にあるため、今後は市債発行額の抑制による公債費の縮減や、定員適正化計画に則った職員数の削減、また一層の自主財源確保などにより、比率の改善を図らなければなりません。

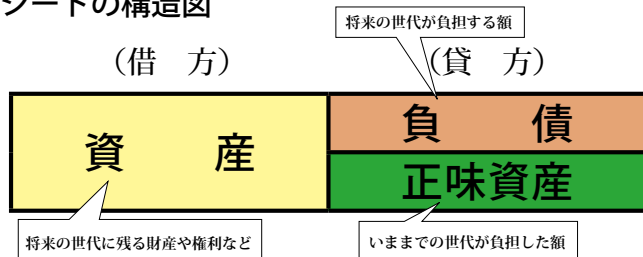
◆ バランスシートで見る大仙市の財政 (1人あたり)

※ 19年3月31日現在の人口 94,160人で算出
(単位:円)

借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	145,094	(1) 地方債	598,323
(2) 民生費	56,646	(2) 債務負担行為	
(3) 衛生費	22,381	① 物件等の購入等	0
(4) 労働費	5,155	(PFI等の手法で整備した資産)	
(5) 農林水産業費	127,149	② 債務保証又は損失補償	0
(6) 商工費	59,485	(債務確定額)	
(7) 土木費	507,084	債務負担行為計	0
(8) 消防費	8,295	(3) 退職給与引当金	114,567
(9) 教育費	319,538	(4) その他	0
(10) その他	3,543	固定負債合計	712,890
計	1,254,370		
(うち土地)	299,772)		
有形固定資産合計	1,254,370		
2. 投資等		2. 流動負債	
(1) 投資及び出資金	5,990	(1) 翌年度償還予定額	63,320
(2) 貸付金	4,089	(2) 翌年度繰上充用金	0
(3) 基金		流動負債合計	63,320
① 特定目的基金	11,535	負債合計	776,210
② 土地開発基金	7,137		
③ 定額運用基金	2,308		
基金計	20,980		
(4) 退職手当組合積立金	0		
投資等合計	31,059		
3. 流動資産		【正味資産の部】	
(1) 現金・預金		1. 国庫支出金	166,857
① 財政調整基金	16,026	2. 都道府県支出金	83,441
② 減債基金	4,769	3. 一般財源等	301,804
③ 歳計現金	14,866	正味資産合計	552,102
現金・預金計	35,661		
(2) 未収金			
① 地方税	6,104		
② その他	1,118		
未収金計	7,222		
流動資産合計	42,883		
資産合計	1,328,312	負債・	
		正味資産合計	1,328,312

※ バランスシートは平成18年度普通会計決算数値等をもとに、総務省統一基準で作成しています。

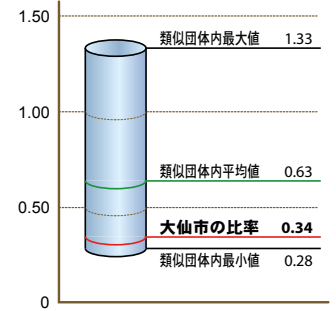
■ バランスシートの構造図



上の図がバランスの大まかな形です。左が道路、公園、土地、現金などの「資産」。右がお金をどのように調達したかを示し、上の「負債」が今後支払わなければならない額で「正味資産」が今まで支払った額です。

財政力

類似団体内順位 124位 (127団体内)

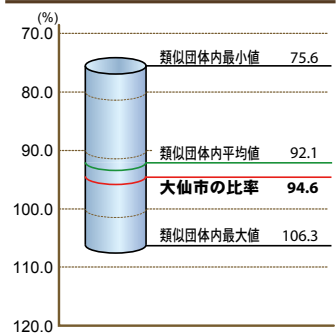


大仙市の
財政力指数

0.34

財政構造の弾力性

類似団体内順位 89位 (127団体内)

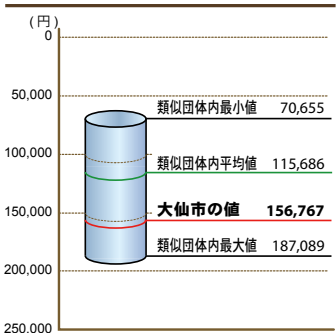


大仙市の
経常収支比率

94.6%

人件費・物件費等の適正度

類似団体内順位 119位 (127団体内)



大仙市の
人口1人当たり人件費
・物件費等決算額

156,767円

○ 実質公債費比率
前年度を0・6ポイント上回る17・6%となっており、来年度以降も比率の悪化が懸念されます。今後は、市債借換による償還利息の軽減を図るとともに、普通建設事業における事業費や実施年度の見直しを図るなど、各年度の市債発行額を抑制し、平成26年度には全会計における市債残高を1千億円以下にすることを目標とし、比率の改善に努めなければなりません。

おおきなせなかに

夢を乗せ 未来に^{あす}羽ばたく 元気なまち



広報だいせん — 予算特別号 —
「今年の一挙」

夢のある田園交流都市 大仙の創造を目指して

平成20年5月1日発行

編集発行／大仙市役所企画部総合政策課

〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号

TEL 0187-63-1111 (代表)